

キャリアハンドブック 「Career +」の制作

学生がキャリアを考えるきっかけづくり

1 はじめに

背景

大学生のキャリアに関する事前調査によると、大学卒業後の進路では「就職」が一般的であるが、初職後1年未満に「仕事が自分に合わなかった」といった理由で離職してしまう人もいる現状があるうえに、進路状況は学んでいる分野によって異なることが分かった。就職は大学卒業後の進路として安定した選択だが、自身に合ったキャリアを築いていくためには、就職に限らずに自分に合致した働き方を選ぶことが大切であると考え。以上のことを踏まえ、**学生がキャリアを考えるきっかけを促す媒体や、学んでいる分野や大学に対応したキャリア支援が必要**になると考えた。

キャリアの定義

本研究では、シャインの理論を基にキャリアについて述べた書籍から引用し、キャリアの定義を以下のように定める。
「人の一生を通じての仕事、生涯を通じての人間の生き方」

目的

本研究の目的は、以下の2点である。

1. 自分自身のキャリアを考えるきっかけをつくり、選択肢を広げる
2. 「働く」ことや社会の仕組みについての理解を深める

本研究の制作物によりターゲットである本学デザイン学部生が**自身のキャリアを見つめ直す機会を得て、キャリアについて自分事として捉えられる**ようになることを最終到達地点と定める。

仮説

本研究目的を達成するにあたり、制作物に取り入れる内容に効果的であるとして、以下2点の仮説を立てた。

- 仮説1. 大学に合わせた内容を取り入れる必要がある
- 仮説2. 企業への就職以外の多様な働き方や進路を示す必要がある

2 制作

—— キャリアの効果的な表現方法 ——

アンケート調査や文献比較より、本研究におけるキャリアの効果的な表現方法について、以下5点を導き出した。

1. 大学に合わせた情報を提供する必要がある
2. 企業への就職以外の大学卒業後の進路も示す必要がある
3. 給料や休暇をはじめとする、ワークルールについて知る機会が必要である
4. 専門的な知識を知る機会は、場所は学内で媒体は紙がふさわしい
5. 情報をビジュアライズすると内容が伝わりやすい

—— ターゲット・コンセプト ——

ターゲット：**本学デザイン学部生**

本学独自の「キャリアを考えるきっかけ」をつくり、本学独自の情報を含めて伝えたいと考えた。

また、本学デザイン学部生が想定している多様な働き方も踏まえたいと思い、ターゲットを限定した。

コンセプト：**「キャリアの見える化」**

キャリアに関する様々な情報をビジュアライズして表現し、制作物により学生が自身のキャリアを考えるきっかけをつくることを目指す。

制作物の特徴

学生が**キャリア**を考えるきっかけになるような項目を掲載した
A5 サイズのハンドブック

キャリア編とマナー編の大きく2つの章で構成

ハンドブックでは**4STEP**にそって、キャリアを考えるサポートを行う

STEP

1 自分を知る

自己分析用のシートに書き込みながら、自分自身のことを知る。

STEP

2 社会を知る

基本的なワークルールを知ることで社会について知り、「働く」ことへのイメージを具体化させる。

STEP

3 多様な進路を知り、自分事として考える

大学卒業後の多様な進路について知り、インタビューなどを通してキャリアについて自分事として捉え、自分に合った働き方を模索する。

STEP

4 社会に出る準備をする

基本的なビジネスマナーなどを身につけることで、社会に出る準備をする。

主な掲載項目

自己分析

ワークルール

多様な進路

就活アンケート

インタビュー

マナー

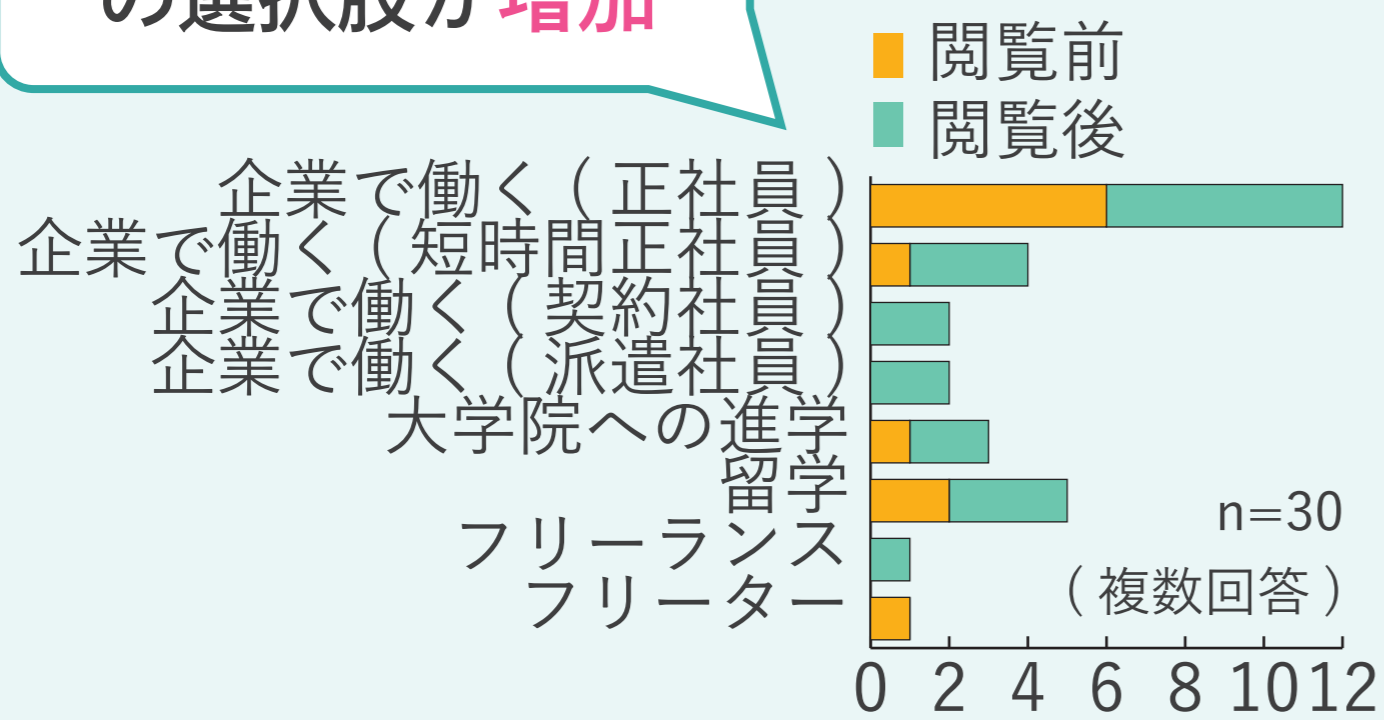
3 検証



電子データを用いた検証1では、ハンドブックのPDF データダウンロードの URL を対象者にメールで送付し、各自でデータをダウンロードしていただく方法をとった。
紙媒体を用いた検証2では、スカイウェイでの作品展示にハンドブックの配布版を設置し、対象者に自由に手に取ってもらう方法をとった。
検証はいずれもハンドブック閲覧後にアンケート (Google フォーム) に回答していただいた。

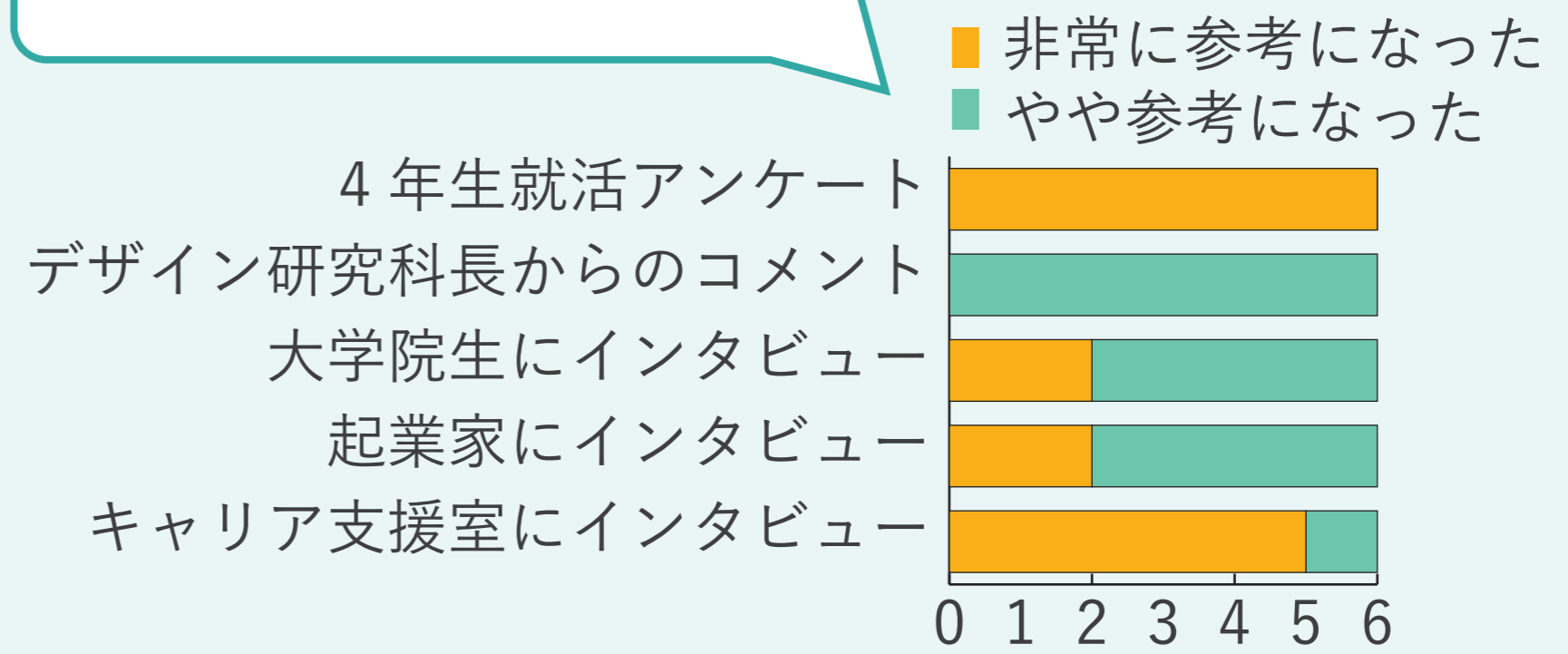
本学デザイン学部の1-3年生を対象とした検証を行い、最終的な有効回答数は6件(1年生:2件、2年生:1件、3年生:3件)であった。
※下記には、アンケート結果の一部について記す。

閲覧後は想定進路の選択肢が増加



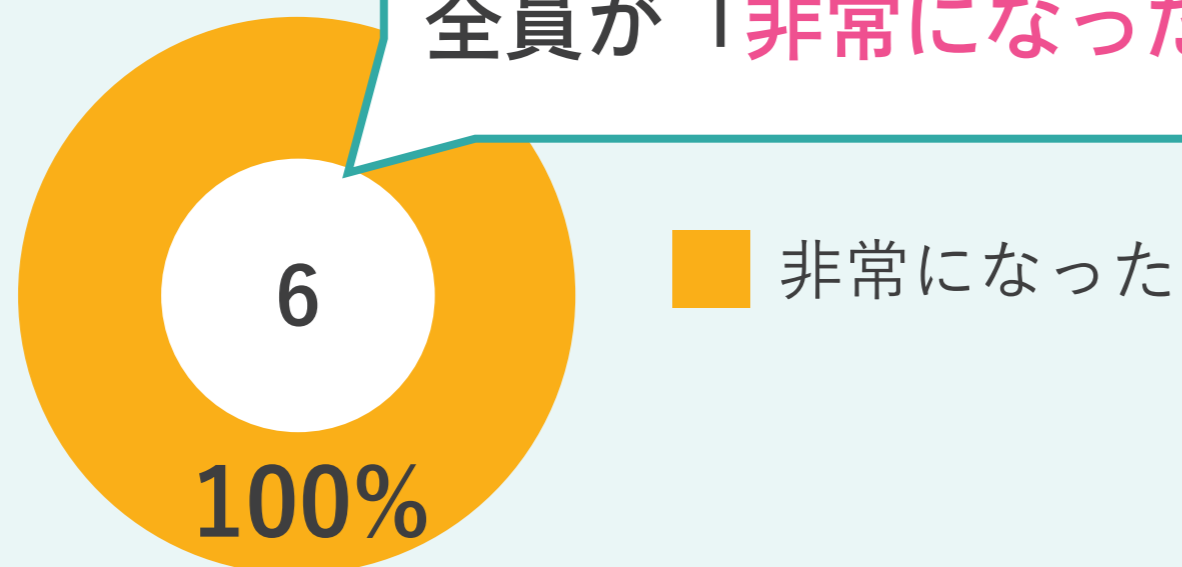
考えたことがあった大学卒業後の進路・働き方と
新たに検討してみようと思った大学卒業後の進路・働き方

全員が「参考になった」



4年生への就活アンケートやインタビューは、キャリアを
自分事として考えるうえで参考になったか

全員が「非常になった」



ハンドブックは自身のキャリアを考える
きっかけになったか

高評価を獲得！！

- 😊 難しそうで知ることを今まで避けてきたような情報とかがわかりやすく丁寧に書かれていていいなと思いました
- 😊 キャリア系の授業などでもらう就活生応援企業からもらったどの冊子より参考になったと本当に感じる

アンケート全体の結果としては、予想以上に高評価をいただくことができた。具体的な使用感想も得ることができたので、ハンドブックを制作するうえでの狙いや意図が学生に伝わっていると実感することができた。

4 結論と展望

結論

上記の検証より、本学ならではの情報をハンドブックに取り入れたことは、キャリア編で「本学生の実情を知れる」といった意見をいただいたうえ、マナー編では「本学生向けである」ことを意識づけることができたことから、仮説1の効果は確認できた。また、ハンドブック閲覧前と閲覧後で「進路・働き方」の選択肢を増やすことができ、**学生自身のキャリアを考えるきっかけを与えられた**といえることから、仮説2についても効果を確認することができた。**仮説1・仮説2の効果を確認できたことから、本研究目的も同時に達成できた**と考えられる。

展望

本研究で制作したハンドブックは、ターゲットを本学デザイン学部生に限定したものであったが、他大学に対応したハンドブック展開をしていくことも可能であると考えられる。各大学の学生に対応したキャリア支援を行っていくことが、学生が自身に合った「働き方」を選択するためには重要であるうえに、他大学と比較することで自身の専門性も認識することができる。そうすることで、学生はより自身を知ることができ、なりたい自分の構築へとつなげられることが期待される。